20230606 道北　(富良野)

第３種郵便物認可　北海道新聞　2023年（令和5年）6月6日（火曜日）

カヤック500メートル男女全種目V

南富良野高カヌー部 11人に全国切符

【南富良野】今夏の全国高校総合体育大会（インターハイ）のカヌー競技道予選（道高体連など主催）が町内東鹿越のかなやま湖で行われた。南富良野高カヌー部は全国につながるカヤック500㍍男女全6種目を制覇し、11人がインターハイ出場の切符を手にした。同部の山谷きわさん（2年）は女子500㍍の1人乗り、2人乗り、4人乗りの計3種目で優勝した。

㊧部員11人が全国高校総体出場を決めた南富良野高カヌー部の選手たち
㊨全国高校総体の道予選のカヌー競技で三冠を達成した山谷きわさん

山谷きわさん3種目制す

道予選は2日に行われ、山谷きわさんは、女子カヤック500㍍1人乗り決勝（出場4艇）で双子の姉とわさん（2年）に序盤リードを許したが、トップスピードに自信があり「姉はスタートがうまい」と慌てなかった。速度を上げて中盤で抜き去り、11秒12の差をつけゴールした。

昨年は他校の選手に大差で敗れて2位に甘んじた種目だけに思い入れは強かった。きわさんは「波が高くバランスをとるのに苦労した。全部（の種目で）勝つつもりで挑んだのでうれしい」と笑顔を見せた。

胆振管内白老町出身。国体出場経験がある母歩積さんの影響で小学1年の時に安平の森カヌークラブ（同管内安平町）で競技を始めた。中学1年の時に全国大会を経験。昨年まで16年連続でインターハイに出場したカヌー部に入るため南富良野高に姉妹で進学した。

今大会の女子カヤック4人乗り500㍍できわさんとともに全国出場を決めたとわさんは「競技に向き合う姿勢は尊敬するし見習いたい」と妹をたたえる。きわさんは「全国ではどの種目でも自己ベストを更新して決勝の舞台に進みたい」と意気込みを語った。

2人のほか、秋田誠也さん（3年）と藤原悠斗さん（同）、山西瞳翔さん（同）、益田然さん（2年）、立花尽さん（同）、加藤久陽さん（同）、藤木乃逢さん（同）、中嶋華乃さん（同）、吉田明日香さん（同）が8月上旬に山形県西川町の月山湖で開催されるインターハイに出場する。

上川管内を会場にしたインターハイ道予選は、少林寺拳法が10、11の両日に富良野高で、登山が20～23日に十勝岳や旭岳などでそれぞれ実施される予定。今年の全国高校総体は両競技を含む多くが道内で行われる

（相武大輝）

©北海道新聞社